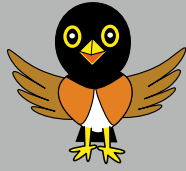


こっこめ通信 03 2022

「コケって？と春探し」号



八丈島ではアカッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

厳しかったこの冬もようやく終わり、春らしい陽気になってきました。八丈島では今シーズン平地が白くなる程の降雪はありませんでしたが、雪の多い地域ではまだまだ注意が必要なようです。今回は「コケのようにコケじゃないの?」と、中止になった「春探し東里散歩」代替で実施した調査の記録を紹介します。(T.K.)

コケのようでコケじゃないの?

毎日寒い日が続いていますが、そんな時こそ植物公園を散歩してみませんか。そこで今月は公園の中で見られる「苔」だと思っていたのに、実は苔ではないちょっと変わったモノをご紹介します。ぜひ、探してみてください。歩くとき体がポカポカしてくるので、脱ぎ着のしやすい上着は必携ですよー! (M.K.)



ウチワゴケ *Crepidomanes minutum*

丸い葉が密集して岩や石の上に生えるシダです。公園内では日当たりの悪い園路脇の石の上でよく見かけます。また、葉の上にコップ状のものがあ、この中には孢子囊が入っています。



タチクラマゴケ *Selaginella nipponica*

公園内ではよく目にするシダです。寒い時期には上の画像のように葉が赤くなることがあり趣があります。茎は地を這うように成長し、孢子囊が付く頃に立ち上がってきます。



スミレモ *Trentepohlia* sp.

公園内では少し日陰にある岩の隙間で見られることが多い藻類です。オレンジ色のフサフサが目立つので、すぐに見付けられることでしょう。



地衣類 (ちいるい)

公園内では石や木の幹などで数種類見られますが、地衣類の同定は難しいので、ここでは特定せず、地衣類全体を観察してみてください。マクロモードで撮影すると面白いですよ。

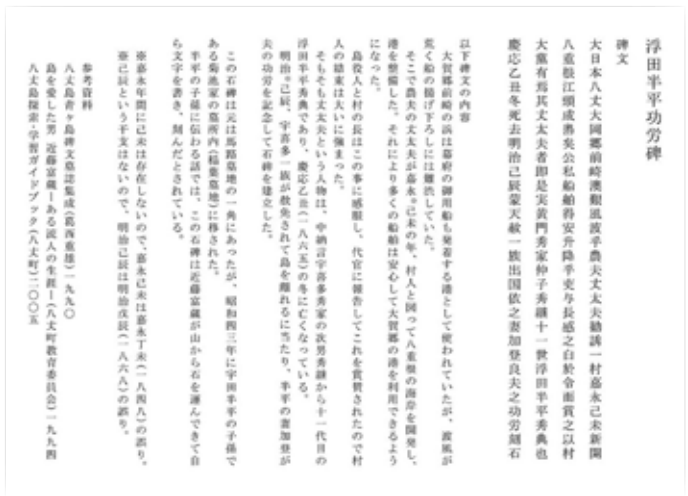
「アカッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

中止でなければこんな感じ！

新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が東京都全域に適用されたことに伴いビジターセンターの行事も全て中止となりました。そのため2月26日に予定していた毎月恒例の八文学講座「春探し東里散歩」に代えて、予定していたコースでスタッフ研修を兼ねた調査を行いました。その内容を少しだけ紹介します。(T.K.)



東里地区にある八丈プラザ公園は南西側に傾斜の急な三原山が迫っているため日照時間が短く、季節の変化がはっきりと感じられる傾向があります。



コースの途中には江戸時代の八丈島の厳しい生活が偲ばれる興味深い石碑があります。資料を見ながら当時の島の暮らしに思いを馳せてもらう筈でした。



ハチジョウキブシ *Stachyurus praecox* var. *matsuzakii*
ようやく咲き始めたハチジョウキブシ。桜前に先駆けて真っ先に春の気配を感じさせてくれる花です。



オオバヤシャブシ *Alnus sieboldiana*
雄花は花粉を飛ばし、枝先の雌花も熟しています。花粉症の方にとっては見たくもない花ですね。



オオイヌノフグリ *Veronica persica*
ここまで寄って見ると二本の葯から花粉がこぼれている様子が良くわかります。



ヤハズエンドウ *Vicia sativa* ssp. *nigra*
別名・カラスノエンドウ
漢字にすると「烏野豌豆」って知ってました？

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものを観察して季節を感じてもらう目的で「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。季節の変化を感じられる植物は全て記録し、野鳥や昆虫の様子も観察しています。今回は新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置の実施に伴い行事が中止となったため、2月13日にスタッフだけで実施しました。

八丈植物公園季節調査（2022年第2回）参加者：VC菊池，木下

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			28	ハチジョウアザミ	花	シダ植物		
1	アオノクマタケラン	実が残る	29	ハナイバナ	花	1	イシカグマ	
2	アキノノゲシ	花と実	30	ハハコグサ	花	2	ウチワゴケ	
3	アツバスマレ	花	31	ヒナギキョウ	実	3	オオイタチシダ	
4	アメリカセンダングサ	花	32	フウトウカズラ	実と蕾	4	オオタニワタリ	
5	イワニガナ	花	33	ベニバナボロギク	花	5	オニヤブソテツ	
6	ウスベニニガナ	花と実	34	ムラサキカタバミ	花	6	カニクサ	
7	ウラシマソウ	花	木本			7	タチクラマゴケ	
8	オオアレチノギク	花	1	アオキ	実の虫こぶ	8	タチシノブ	
9	オオシマカンスゲ	花	2	イタビカズラ	実	9	タマシダ	
10	オオバコ	蕾	3	イヌビワ	実	10	ナチシケシダ	
11	オニタビラコ	花と実	4	オオアリドオシ	実	11	ノキシノブ	
12	オランダミミナグサ	花	5	オオバヤシャブシ	蕾	12	ハチジョウカナワラビ	
13	カタバミ	花と実	6	オオムラサキシキブ	実が残る	13	ハチジョウシダ	
14	カラスノエンドウ	花	7	ガクアジサイ	実	14	ハチジョウベニシダ	
15	ケナシノジスミレ	花	8	キツタ	実	15	ハマハナヤスリ	
16	コケリンドウ	花	9	シマクサギ	実が残る	16	ヒトツバ	
17	コシロノセンダングサ	花	10	タイミンタチバナ	蕾	17	ヘラシダ	
18	コナスビ	花	11	ツルグミ	花と実	18	ホシダ	
19	コハコベ	花	12	ハチジョウキブシ	蕾	19	ホラシノブ	
20	シチトウスミレ	花	13	ヒサカキ	咲き始め	20	マツバラ	
21	シマササバラ	実	14	ホウライカズラ	実の虫こぶ	21	マメツタ	
22	シマテンナンショウ	花	15	マサキ	実	22	ヤマイタチシダ	
23	ススキ sp.	実が残る	16	モクレイシ	花	今回はシダ植物 22 種を含む 76 種の植物を観察しました。 野鳥では餌を探すメジロの群れが目立ちました。また、ジョウビタキの雌やキセキレイの姿が見られ、コジュケイやキシバトのさえずりも聞かれました。		
24	スズメノカタビラ	花	17	モチノキ	花			
25	センニンソウ	実が残る	18	ヤツデ	実			
26	タネツケバナ	花と実	19	ヤブツバキ	花			
27	ツフブキ	咲き残り	20	ヤマモモ	蕾			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「シンエダウチホングウシダ」にスポットを当ててみたいと思います。



シンエダウチホングウシダ *Lindsaea orbiculata* var. *commixta*

和歌山県南部から高知県、九州南部、琉球列島に分布する常緑のシダ植物です。本種と良く似たエダウチホングウシダが八丈島では比較的普通に見られるのと対照的に、三原山の限られた地域でしか確認されていません。

両種の違いは、シンエダウチホングウシダは小羽片の縁の切れ込みが少なく、孢子嚢群が線状に繋がること（エダウチホングウシダの孢子嚢群は途切れ途切れ）、シンエダウチホングウシダは葉の色が明るい緑色であること（エダウチホングウシダは濃緑色）といったところでしょうか。（T.K.）

2022 八丈ビジターセンター 3 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります		1	2	● 3	4	啓蟄 5 ガイドウォーク
6 ガイドウォーク	7	8	9	☾ 10	11	12 ガイドウォーク
13 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	14	15	16	17	○ 18	19 ガイドウォーク
20 ガイドウォーク	春分 21 ガイドウォーク	22	23	24	☾ 25	26 ガイドウォーク 八文学講座 「春の植物観察会」
27 ガイドウォーク	28	29	30	31		

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
3/13(日) (13:30～15:00) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

八文学講座 「春の植物観察会」

毎月行っている八文学講座。今月は和泉親水公園周辺で春の植物を観察します。
3/26(土) (13:30～15:00) 中学生以上
和泉親水公園駐車場 集合・解散 参加費：50円 定員：10名

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土日及び祝日、(10:30～約1時間) だれでも参加できます。
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

3月6日まで中止

ビデオプログラム

- 10:00～ 八丈・海・生きものたち
 - 11:00～ おじゃりやれ 八丈島
 - 14:00～ おじゃりやれ 八丈島
 - 15:00～ おじゃりやれ 八丈島
 - 16:00～ 八丈・海・生きものたち
- 当面の間は上記のみの上映になります

東京都八丈ビジターセンター 2022.3.1 第250号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入館無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888
E-mail：info@hachijo-vc.com
http://www.hachijo-vc.com

編集後記

寒さ厳しく、全国的には大雪の被害も多く聞かれたこの冬ようやく終わりを迎えたようです。
新型コロナウイルスも冬と一緒に去ってくればよいのですが・・・もうひとがんばりが必要でしょうか？ (T.K.)